

小豆島町学校ICTレポート

「GIGAスクール構想」小豆島町の取り組み

○GIGAスクール構想実現に向けて

小豆島町では「GIGAスクール構想」の実現に向けて2020年度に総額約8,800万円の予算を計上しました。その内訳は以下の図の通りです。



投資した教育設備を生かすためには人的サポートも欠かせません。2021年度は、ICT支援員を2人体制（うち1名は地域おこし協力隊員）とする予定です。ICT支援員は実際の授業に入り、先生や児童生徒へのサポートを行う予定です。

○小学生議会（2021年1月29日）

2021年1月29日に、町内の小学六年生が集まり小学生議会が開かれました。この中で、星城小学校の議員から「昨年の新型コロナウイルスによって臨時休校になり、学習が遅れとても不安になりました。もし同じことが起きても対応できるよう、家庭でのリモート授業が受けられる環境を整備してはどうか」という質問がありました。

これに対して教育長からは、現在1人1台学習端末と学校内ネットワークの整備事業について説明がありました。また担当者から、今後、学習端末の家庭への持ち帰りもできるように検討をするとともに、学校において「皆さんが1日1回は学習端末に触ってもらうことから始めていきます」との答弁がありました。大事な事なので、小豆島町の目標を繰り返します。

小豆島町の目標

全児童生徒が1日1時間はiPadを使った授業を受ける